

令和5年11月22日（水）

第11回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和5年11月22日(水) 午後2時00分
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 丸 智彦 委員 蒲田 知子
委員 村松 弘康 委員 新山 訓代
委員 中村 通宏
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員
教育総務部長 山田和夫 生涯学習部長 菊地 統
生涯学習部次長兼生涯学習センター長兼公民館長兼生涯学習課長 小林 裕
総務課長 高橋 純 学校教育課長 中野直美
鳥の博物館長 森田康宏
文化・スポーツ課長兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史郎
指導課長兼小中一貫推進室長 森谷 朋子
図書館長 穂村喜代子 生涯学習課主幹 斉藤 幸弘
学校教育課主幹 齊藤 優 指導課主幹 中山 千草
教育相談センター係長 三津山まどか
6. 欠席事務局職員
教育相談センター所長 遠藤美香 少年センター長 川本将多

午後2時00分開会

○丸教育長 ただいまから令和5年第11回定例教育委員会を開会いたします。

会議録署名委員指名

○丸教育長 日程第1、我孫子市教育委員会会議規則第31条の規定により、会議録署名委員を指名いたします。新山委員にお願いします。

諸 報 告

○丸教育長 日程第2、諸報告を議題とします。

事前に配付された事務報告、事務進行予定資料等に補足する説明や追加する事項が今回は10点ございますので、こちらから報告をいたします。

まず初めに1点目です。令和6年我孫子市二十歳成人式の内容について、小林生涯学習課長、お願いします。

○小林生涯学習課長 令和6年二十歳成人式の開催に当たり、実施の概要をご報告させていただきます。

式典は令和6年1月7日（日曜日）、3部制にて、けやきプラザふれあいホールで実施します。

3部構成について、まず第1部は我孫子中学校区、湖北台中学校区の方々を対象で、10時30分～11時を予定しています。第2部は久寺家中学校区、湖北中学校区及び我孫子特別支援学校卒業の方を対象とし、12時～12時30分を予定しています。第3部は白山中学校区、布佐中学校区の方々で、14時～14時30分を予定しています。

なお、令和6年二十歳成人式の該当者の方々は、平成15年4月2日～平成16年4月1日にお生まれになった方で、令和5年4月21日時点の住民基本台帳では1,261名の方々が対象となっています。成人式については、

我孫子の広報等と市のホームページに情報を掲載させていただいています。

主催者側の出席者につきましては、市長並びに教育長のお二方にご出席を依頼しています。

来賓の方々ですが、我孫子市選出県議会議員の方々、市議会議員の方々、小中学校卒業時の恩師の方々、生涯学習審議会会長、選挙管理委員会委員長、そして教育委員の皆様にご出席の依頼をさせていただく予定でございます。

なお、例年大好評の動画配信は、1月7日22時00分～1月31日23時59分までご覧いただけます。成人式の案内状にパスワードを記載していますので、そちらでご覧いただくような形になります。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。

ご質問等がありましたらお願いいたします。——よろしいですか。

続きまして2点目、生涯学習センターアビスタ給水設備改修工事に伴う休館について、小林生涯学習課長、お願いします。

○小林生涯学習課長 生涯学習センターアビスタは12月4日（月曜日）～12月11日（月曜日）の8日間、給水設備の改修工事をするため、アビスタ全館、公民館施設、図書館施設ともに休館させていただく形になります。

なお、公民館の施設予約の問合せ、1階の総合受付並びに出前講座や視聴覚器材についての問合せは、2階の生涯学習課の事務所には職員がいますので、休館中も17時まで対応できるような状態になっています。こちらについてはホームページ、アビスタ館内にある行事予定表の掲示板に掲載し、広報の12月1日号にも休館のお知らせを掲載する予定でございます。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。

ご質問等がありましたらお願いいたします。——よろしいですか。

3点目、ジャパンボードフェスティバルの報告について、森田鳥の博物館長、お願いします。

○森田鳥の博物館長 事務報告の21ページ、主催事業(2)(3)(4)、22ページ、共催事業(2)(3)が今回のジャパンバードフェスティバルの鳥の博物館における関連事業となります。

今回のJBFにつきましては、4年ぶりにメイン会場を手賀沼親水広場とする形で開催されました。両日とも天候にかなり恵まれ、2日間で延べ3万6,000人の方が会場を訪れました。多くの方々の協力により、特に大きな事故等なく無事に2日間の開催を終えることができました。

この間、鳥の博物館ではJBFが開催される2日間を入館無料とし、2日間で5,620人の方が入館されました。また、JBFに合わせたイベントとして、鳥の工作、鳥博クイズ、「てがたん in JBF」を開催し、それぞれ好評を博しました。

同じくJBFに合わせたイベントとして、山階鳥類研究所との共催で森林総合研究所鳥獣生体研究室長の川上和人さんを講師にお招きし、第33回鳥学講座をアビスタで開催いたしました。こちらについてもかなり大好評ということで、当初見込んでいた120名の定員を大きく超える198名の方に参加していただき、別室での視聴を実施することで対応いたしました。こちらにつきましては定員を大きく超える参加者であったことから、受付の前に大分長い列ができてしまい、若干の混乱もあったということなので、このあたりにつきましては来年度以降、混乱がないように運営していきたいということで課題として捉えています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。

ご質問等があればお願いいたします。——よろしいですか。

続きまして4点目、「あきのあびこミステリーツアー」について、辻文化・スポーツ課長、お願いいたします。

○辻文化・スポーツ課長 「あきのあびこミステリーツアー」と題しまして、

12月3日まで秋のまち歩きシーズンに、旧村川別荘、杉村楚人冠記念館、志賀直哉邸跡書斎など、我孫子地区の文化財施設を歩く謎解きツアーを行っています。

参加者は、アビシルベ、我孫子駅、アビスタ、水の館等で、専用のカラーの台紙を受け取り、そこに書かれたクイズを解きに現地を散策するという仕掛けになっています。台紙は2,000枚印刷し、現在、残部のみということで、ほぼ配り終わっている状態です。今のところの集計では、約50名の方が景品の交換まで訪れたと報告を受けています。

このツアーはJR東日本我孫子駅が主催する「駅からハイキング」のツアーともリンクしており、秘書広報課等とも連携した事業となっています。

今後もこういった多くの方に巡っていただけるような事業を展開していきたいと考えています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。

ご質問等あればお願いします。

現地に向かえば、必ずこの答えは出るのですか。

○辻文化・スポーツ課長 そのような仕掛けになっていると担当からは聞いています。

○丸教育長 ありがとうございます。

ほかによろしいですか。

続きまして5点目、パラスポーツ体験について、辻文化・スポーツ課長、お願いいたします。

○辻文化・スポーツ課長 毎年12月3日～9日は、障害者に対する関心や理解を深め、障害のある方が様々な分野の活動に積極的に参加することを目指す障害者週間となっています。12月3日に障害者週間記念イベントとして、障害者支援課と文化・スポーツ課が共同し、「パラスポーツ体験！ABIKO」

を実施することとなりました。

このイベントでは、パラリンピック種目にもなっていますボッチャ、ペガーボールといって、簡単に言うと、ベルクロがついた球を鬼にぶつけて、たくさんついたほうが勝ちという、いわゆる鬼ごっこの的なものです。それからムーブメントスカーフといって、スカーフをお互いに投げ合って、滞空時間にきれいに広がるようにやるようなキャッチボールみたいなものですが、誰でも参加できるスポーツを体験していただきます。

なお、こちらの指導に関しましては、日頃から障害者スポーツに取り組んでいる我孫子市スポーツ推進委員が担当することになっています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。

ご質問等があればお願いいたします。——よろしいですか。

それでは6点目、読書講演会の関連展示について、穂村図書館長、お願いいたします。

○穂村図書館長 展示「大野隆司 版画展」についてです。

1月14日に「白樺文学館とわたし」という講演会を開催するのですが、その際に北村薫さんという作家の方に来ていただきます。大野隆司さんの絵を使った装丁の本をたくさんお出しになっている方で、大野隆司さんとゆかりが深いということがあり、その講演会の前振りも兼ねて展示をしてくださることになりました。アビスタ休館明けの12月12日～28日まで、アビスタ2階のガラスケースに大野隆司さんの版画展を行います。その期間中の12月17日にアビスタの工芸工作室で、大野隆司さんが版画を実演して、それを刷るという体験を親子で参加してもらおうと思っています。実際に彫るのは刃物で危ないため、彫る姿を見ていただいて、刷りのみを体験していただくという実演会になっています。そのイベントが12月17日に開催です。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。

ご質問等があればお願いいたします。——よろしいですか。

それでは、続きまして7点目、我孫子市民図書館布佐分館エレベーター工事に伴う臨時休館について、穂村図書館長、お願いいたします。

○穂村図書館長 布佐分館については1月9日～2月29日までエレベーターの改修工事が入ります。今実際に布佐分館で外部改修工事も行っていて、そちらに関しては耐えられる音ということで休館せずに行っていますが、エレベーターに関しては内部の作業になるので、音が激しいということで休館させていただくことになりました。

実際に工事は1月10日からですが、9日が祝日の振替休館となっていますので、広報の記載としては1月9日～2月29日までとなっています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。

ご質問等があればお願いいたします。——よろしいですか。

続きまして8点目、我孫子市子どもの読書推進計画第二次について、穂村図書館長、お願いいたします。

○穂村図書館長 今、第一次の計画は進行している最中で、それが5年度いっぱいでは終わりますので、6年度以降の5年間の第二次の計画を策定中です。それに関しましては、基本方針をまずつくります。

基本方針としては、第一次の成果と課題を考えて、アンケートも取りながら第二次に向けての基本方針を4つつくりました。第一次のときも4つだったので、今回に関しては、(1)と(2)はほとんど同じ内容で進んでいこうと思っています。(1)「子どもの自主的な読書活動を支える読書環境の整備・充実」に関しては図書館部分がメインになる方針で、整備と充実というのは最も欠かせないものであることから(1)はそのまま置きました。(2)「家庭や地域との連携・協力による読書に親しむ機会の充実」に関しても、第一次

を行った中で成果と課題が見えてきて、やはりここも基本に立ち返るといふか、幼い頃から読書に親しむ機会の充実ということで2番目に入れてあります。(3)

「学校図書館における自主的な読書活動支援体制の充実」は第一次の中で大分進んだ点もありましたので、第一次では「支援体制の整備」としていたのですが、「支援体制の充実に」変えて3番目に入れてあります。(4)「子どもの読書への関心を高める取り組みの推進」ということで入れました。啓発活動を主に第一次は進めていったのですが、これも第一次の課題として地域のボランティアさんのつながりが、なかなか情報共有ができていないということが見えてきましたので、こちらに関して取り組んでいきたいということで4番目に入れてあります。

これは今策定中でして、1月5日～2月5日の予定でパブリックコメントを行います。その後、生涯学習審議会で報告し、その後、定例教育委員会に議案として出し、3月に決定していくという流れで進んでいくものです。よろしくお願いいたします。

○丸教育長 ありがとうございます。

ご質問等があればお願いいたします。——よろしいですか。

それでは9点目、我孫子市第3期教育振興基本計画について、高橋総務課長、お願いいたします。

○高橋総務課長 この計画は教育基本法に基づき策定する計画で、我孫子市が目指す教育を実現するための計画となっています。教育行政における最上位計画として位置づけられ、我孫子市第四次総合計画を踏まえるとともに、教育大綱を基に策定しています。

計画の期間は、第1期を平成28年～31年度まで、令和2年度～令和5年度までを第2期、そして今回、令和6年度～令和9年度までの4年間を計画期間とする第3期計画を策定する予定となっています。

基本方針「個性を尊重し、互いに学び合う、学校教育並びに生涯学習の推進」は第2期と変更はございません。

学校教育、生涯教育について、それぞれの分野ごとの基本目標があり、その下にそれぞれ3つの重点施策がぶら下がっています。重点施策の下の施策につきましては、教育委員会で毎年定めている我孫子市教育施策を引用しています。それぞれの施策ごとに現状と課題、今後の方向性について計画に記載しています。

第2期の計画との変更箇所としては、我孫子市第四次総合計画と令和5年度に新たに策定された教育大綱との整合性を図った部分になります。文言の修正や並び順を入れ替えた点が主な変更点となっています。

これまでの策定の経緯としては、教育委員会事務局職員、子ども部子ども相談課と子ども発達センター、健康福祉部社会福祉課の職員で構成する策定委員会を4回ほど開催し、関係課と連携を図りながら内容を詰めてまいりました。

今後のスケジュールとしましては、この計画案をもちまして12月18日～1月18日までパブリックコメントを実施する予定です。

参考までに、前回、第2期の計画のパブリックコメントの件数は3件ございました。1点目が、子どもの学力・学習意欲の向上として、放課後の学習支援教室の活用について。2つ目が、市民の読書活動の推進として、蔵書数の増加と図書館における子どもの利用について。3つ目が、生涯学習について、学んだ成果を社会や地域で生かせる人材の育成と活用について。いずれも取組の中で推進してほしいというご意見でございました。

また、パブリックコメントの終了後に、どのような意見があったかなどは教育委員会の場でご報告させていただきたいと考えています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。

ご質問等があればお願いいたします。——よろしいですか。

それでは最後ですが、我孫子市布佐中学校区の学校の在り方検討委員会の提言について、中野学校教育課長、お願いいたします。

○中野学校教育課長 我孫子市布佐中学校区の学校の在り方検討委員会の進捗状況についてご報告いたします。

11月13日に本年度第4回の検討委員会を開催いたしました。今年度は布佐中学校区の学校の在り方について、児童の視点、教職員の視点、保護者・地域の視点など、あらゆる視点から、3校それぞれで建て替えをした場合、隣接する布佐小学校と布佐中学校を一体型小中一貫校とし布佐南小学校を現地で建て替えとした場合、3校を一体型小中一貫校として建て替えをした場合の3形態のメリット・デメリットについて検討してまいりました。

第4回の検討委員会では、今まで挙げられた検討事項についての最終確認を行い、今後、検討委員会としての見解を提言書の形でまとめていくために、事務局から出された提言書の素案、記載する項目などを示した骨組み（案）についてご意見を頂きました。

当日は1名の委員の方の欠席がございましたが、出席された委員の皆様からは、3校を一体型小中一貫校として建て替えをしていくほうがよいのではないかと御意見が出ました。

今後、事務局において、検討委員会において出された3校一体型にしていく中での懸念事項や期待する効果等のご意見を基に提言書を取りまとめ、次回1月に開催予定の検討委員会において、委員の皆様にご提言書の内容の確認と承認を頂き、その後、検討委員会の委員長と副委員長から教育長に提言書を提出していただく形となります。その提言書を受けて、教育委員会内で今後の方向性について検討し、決定していく形となります。その際には教育委員の皆様にもご意見を頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。

ご質問等があればお願いいたします。——よろしいですか。

1月に提言書を頂きますので、その後、議論をしていきたいと思います。
よろしくお願いいたします。

それでは、これより事務報告に対する質疑に入ります。質疑があれば挙手をお願いいたします。

○蒲田委員 感想になってしまいますが、楚人冠記念館と白樺文学館をJBFの日に回らせていただきました。杉村楚人冠記念館では、冬季企画展「あびこのほとけ」を開催しているところでした。「あびこのほとけ」という中里薬師堂薬師三尊像などを紹介しながら、楚人冠の仏教に対する考え方や関わりについて、すごく分かりやすく説明されていて、それを知らずにいらっしゃった方々が、なるほどと思えるような展示をつくっていることがとてもよかったなと思います。我孫子を知らない方々が、そちらにも関心を持とうかなと思うきっかけになるような展示を見ることができました。

白樺文学館では、点字図書館と共催した式場隆三郎展を実施していました。式場先生が雑誌「白樺」に影響を受け、民藝運動の推進者として活躍されていたことが、わかりやすい視点で説明をしていただき、とても良かったです。いろいろな方々に関心を持ってもらうきっかけになるような展示になったと思います。

また、鳥の博物館では、3Dの鳥の骨の標本をどなたでも触ることができるというものもあり、初めていらっしゃった方は「ここでそういうものが触れるの？」とちょっと驚きがあったかと思いますが、「こんなことができるのだったらまた来てみようかな、また鳥博に行ってみようかな」等と思うきっかけになるような展示が続けて企画されてよかったと思いました。

○丸教育長 ありがとうございます。

○辻文化・スポーツ課長 ありがとうございます。学芸員の腕の見せどころと
いうか、彼らが普段から自己学習、研究を行って、それをいかに多くの来訪者、
市民の方に還元するかという視点で、学んだ成果をこういったところで生かせ
るということが非常に大きいかと思えます。今までどおりの展示をやっていれ
ばある程度の集客は見込まれるとは思いますが、一步踏み出してほかと連携
したり、新しい視点・切り口を持ってきたりということも非常に大事かと思っ
ていますので、こういった取組を今後とも継続していきたいと考えています。

○丸教育長 ありがとうございます。

ほかにございますか。

○蒲田委員 同じ日にJBFの鳥学講座に行きまして、先ほどの館長からのお
話のとおり、とても参加者が多くて、うれしい歓声上がるような状況だった
と思います。4年ぶりの開催でしたが、対応される職員もほぼ替わった中で臨
機応変にできてよかったなと思っています。

会場が2つに分かれてしまったため、2階の会場にいた小学生のお子さん
が最後の質疑応答の時間に、お母様と一緒に慌てて1階の会場に入る場面に
遭遇しました。司会者から遠い場所だったのですが、そのおさんは絶対に先
生に質問をしたいという気持ちがあり、司会者も気づいてくれて最後には先生
に近いところで質問をすることができました。小学生が一生懸命に質問してく
れることに川上先生もとても喜ばれていました。講座に参加された皆さんも気
持ちよく聞いてくださったし、未来ある子どもが質問をしているところもすご
くよかったと思いました。

また、鳥の数について日本の固有種のようなものが増えたのではなく、一
般的に広がりのある鳥がやってきたので固有種は減っている状況なのではない
というお話がありました。単純に鳥の数が増えたらとって、良いことではな

いのだというような深いお話を伺うことができました。私たちがいろいろなことをしていくときに、単純に数字だけを捉えるのではなく、もともとの状況をどう考えていくか、この先どう発展させていくのかということも踏まえた上で数字を捉えなければいけないなということを教えていただき、内容的にもとてもいい講演を聞くことができました。ありがとうございます。

○丸教育長 ありがとうございます。

ほかにございますか。

○村松委員 8 ページ、教育相談センターの市内小学校特別支援学級体験会を各学校で開いていただきましたが、体験された児童生徒さんは、これによって学校に行く道が開けたとか、前向きな形になれたようなお話はありましたか。

○三津山教育相談センター係長 多くの親御さんが、そもそも支援学級というものを全然知らない方々が多いので、どういったところで、どんなことを教えてもらえるのかを知っていただきました。うちの子はここのほうがいいかもしれないということで、「うちの子は支援学級にします」と選んでくださる親御さんもたくさんいらっしゃいます。これから教育支援委員会をして、教育委員会としてお子さんはこちらの学級のほうがいいのではないかなと提案をさせていただいた上で、親御さんの最終的な意向は確認する予定ですが、割と積極的に支援学級を前向きに考えてくださっている方も多くいると聞いています。以上です。

○村松委員 ありがとうございます。

○丸教育長 ほかにございますか。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。事務報告に質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定について質疑があれば挙手をお願いします。

○蒲田委員 11 ページの4番、歴史景観コスプレイベント「アビコス」というとても楽しそうなものが目を引いたのですが、具体的にどのようなものを開

催されるのか教えてください。

○辻文化・スポーツ課長 こちらは都市計画課から提案があった事業ですが、旧井上家住宅を使って、いわゆるコスプレイヤーの人たち、今のところ10名以上来る予定になっているのですが、いろいろ動きをつけた中で写真を撮っていただき、旧井上家住宅がこういった形で歴史的な重みがあったり、あるいはそれを生かしたところで使えるのだということを広く周知したりすることで、いろいろなきっかけになるイベントかということ期待しているところです。歴史的なものとはいえ、うまく使うことによって様々な新しい価値が生まれることで、このようなことも今後継続してやっていきたいと考えています。

○蒲田委員 ありがとうございます。これはギャラリーというか、観客のような方もいるのでしょうか。

○辻文化・スポーツ課長 もちろん横から、どんな感じでされるのかというのを見ていただくことはできるかと思います。何しろ本格的なコスプレイヤーの人たちなので相当作り込んでいる様子ですから、見ていただくと、ふだんとは違う様子も感じる事ができて面白いのではないかと考えています。

○蒲田委員 ありがとうございます。楽しみです。

○丸教育長 ありがとうございました。

ほかにございますか。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に、教育事業全般について質疑があれば挙手をお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。

○丸教育長 以上で令和5年第11回定例教育委員会を終了します。お疲れさまでした。

午後 2 時 3 8 分閉会